

一般財団法人 明石コミュニティ創造協会

2023 年度事業報告書

総括

2023 年度は、2022 年度に策定した新しいパーパス・ビジョン・ミッションで走り出したスタートの年であり、複合型交流拠点ウィズあかし（生涯学習センター・男女共同参画センター・市民活動支援センター、以下、「ウィズあかし」）の指定管理 2 期目の初年度でもありました。このため、様々な基盤づくりに注力した 1 年となりました。

具体的には、ウィズあかしの窓口業務の効率化を目指して、自動釣銭機の導入やオンライン決済の仕組みを取り入れました。老朽化した音響システムの入替えや各種機材の更新も進めました。これらにより、利用者の利便性が向上しただけでなく、スタッフの負担も軽減され、これまで以上に相談やコーディネート業務に注力できる体制が整いました。

さらに、男女共同参画センターの相談業務においては、電話相談の体制を大幅に変更し、事前受付の仕組みを導入しました。この変更により、相談員の負担が軽減されただけでなく、事務職員と相談員の連携が強化され、電話相談に依存傾向にあった相談者を他機関につなげる体制も構築することができました。これらにより、新たにグループ相談や自助グループ支援などの取り組みを進めることが可能となっています。

また、2023 年度の新たな動きとしては、明石市におけるタウンミーティングなどの市民参画の場のファシリテーションに関わったことが挙げられます。当法人のこれまでの場作りや進行のスキルが評価され、明石市主催のタウンミーティングをはじめ、大久保駅前の市有地のあり方を検討する市民ワークショップや、（仮称）西明石地域交流センターのワークショップなども企画・運営を担当しました。これらを通じて、ウィズあかしの運営や校区まちづくり組織の支援だけではつながることのできなかつた市民と関わる事ができたことは大きな成果であったと言えます。

その他、2023 年度の特筆すべきこととして、2022 年度に策定したパーパス等をスタッフ一人ひとりの日々の仕事に結びつけるために、クレド（行動指針）を策定したことが挙げられます。全体会でのワークショップを積み重ねたことで、私たちスタッフが大事にすべきことを共有できるようになりました。今後は、この作成したクレドを活用し、これまで以上に「ちょっと新しい明後日をトモに」というミッションに邁進して参ります。

各事業の詳細については、次ページ以降に記載します。

【目次】

I. 協働のまちづくり推進事業-明石市委託事業-	2
II. 生涯学習の推進事業	5
III. 公共施設の管理運営事業-複合型交流拠点ウィズあかしの運営-	10
IV. 情報発信・情報提供に関する事業-全体に関する事業-	25
V. 市民の主体的な活動支援事業	26

VI. 法人管理・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 33

I. 協働のまちづくり推進事業-明石市委託事業 -

今年度、協働のまちづくり推進にあたっては、校区まちづくり組織や中学校コミセンなどの組織や拠点が個別に活動に取り組むのではなく、より緊密に互いの役割や立ち位置を理解し合い、ともに取り組む風土づくりを進めた。

特に地域自治の支援については、20 校区以上が協働のまちづくり推進組織に移行しているか、移行に向けた計画策定を進める段階にある。また近年重点的に取り組みを進めている「多様な市民がまちづくりに関われる仕組みづくり・制度化(まちづくりサポーターなどハードルの低い会員制度、座談会やまちづくり井戸端会議など日常的な交流や話し合いの場)」についても、その意義が広く認知され、工夫が各地で行われつつあると捉えている。そこで、このような新たな参加の仕組みの普及と、昨年度議論したプラットフォーム型組織など新たなまちづくり組織の形態に向けて、「明石まちづくり懇談会」の企画や、明石市連合まちづくり協議会広報紙での「地域参加」の特集などを進めた。結果、校区間で互いの取り組みを意識する風土が根つきつつあり、直接支援における体制や取り組みの見直しの検討につながっている。

1. 地域自治の支援事業

(1) 全体支援

一昨年度、市から提示された協働のまちづくり推進組織への移行について 2025 年までに着手というリミットを受け、特に今年度はまちづくり計画策定に向けた検討が多くの校区で行われた。そこで、各校区に対する個別支援に特に注力し、新規に 5 校区が計画策定に着手した。その一方で、運営や活動に行き詰まりが見え、次のフェーズの組織体制を模索する地域交付金受託校区も増加傾向にあり、校区まちづくり組織の大きな変わり目の時期が来ていることも感じた 1 年であった。

そこで、昨年度策定した運営ハンドブックや組織力分析シートを通じて議論した、校区まちづくり組織の課題と展望についてアプローチすべく、担当課と「明石まちづくり懇談会」を企画、実施した。その結果、校区を超えた学び合いや、先行校区を参考に計画策定中の校区が活動や仕組みづくりを行うといった動きが起きつつある。

①情報共有・情報発信（提供）

前年度までは地域活動に的を絞って情報発信を行ってきた公式 LINE「明石のまちづくり情報」について、分野を問わず協働のまちづくりを進めていくために、今年度からは市民活動など含め広くまちづくりに関わる情報発信を行った。また、明石市内のイベントや地域活動情報が集まる「まちナビ AKASHI」について、アクセスを高めるための改修を行った。

【実施内容】

内容	詳細
LINE 公式アカウント「明石のまちづく	・配信期間：4月1日～3月31日

り情報」での情報発信	・ 配信件数／登録人数：19 件／186 人
まちナビ AKASHI 編集勉強会	・ 開催日：6 月 14 日（水）13:30～15:30 ・ 参加者：4 校区 6 名(オンライン参加：0 名) ・ 会 場：ウィズあかし学習室 704
明石市連合まちづくり協議会広報部会の運営支援	明石のまちづくり第 13 号（令和 5 年 10 月発行） 明石のまちづくり第 14 号（令和 6 年 3 月発行）
・ 校区まちづくり組織ホームページ掲載「まちナビ AKASHI」の改修	

②相談・コーディネート

広く協働のまちづくりを推進していくために、まちづくり協議会などの校区まちづくり組織への直接支援だけでなく、地域内で活動を行う各種団体に対して相談・コーディネートを行った。なお、分野型組織の相談・コーディネートについては、指定管理運営を行う「ウィズあかし」と連携することで、広く相談にのれる体制で実施した。

【相談・コーディネート件数（校区まちづくり組織からの相談件数は除く）】

項目	相談		コーディネート
	地縁型組織	分野型組織	
件数	2 件	136 件	62 件
内容	<ul style="list-style-type: none"> 自治会内でふれあいサロン立ち上げについての事例提供や支援団体への仲介 地域行事の拡充に向けた事例紹介や分野型団体のコーディネート 	<ul style="list-style-type: none"> 活動や団体の立ち上げ相談 活動の運営相談 NPO など法人の設立相談、解散相談 など 	<ul style="list-style-type: none"> 市民講師の中学校コミセンへコーディネート 市民活動団体のまちづくり協議会の敬老会、夏祭り等地域行事へのコーディネート など

③活動支援・人材育成(セミナー、勉強会の実施)

地縁型、分野型、地域における生涯学習といった特定の領域を対象とするのではなく、「本のある居場所」をテーマに校区まちづくり組織、中学校コミセン、関心ある市民が学び合うなど、横断的な活動支援・人材育成機会を設けた。

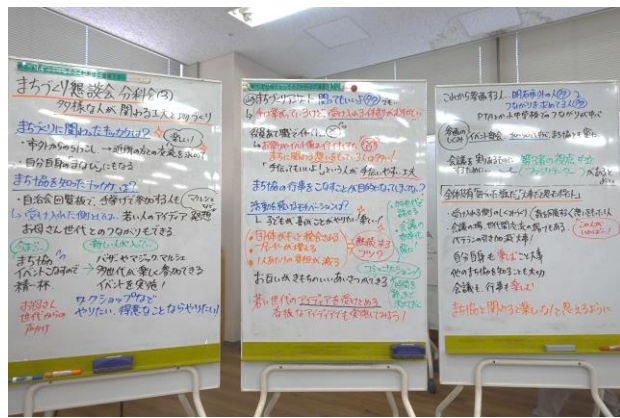
【取組内容】

タイトル・内容	概要
第 3 回 知る、見る、つくる ブックスポット勉強会 テーマ：展示スペースのあるブックスポット ＊「明石まちなかブックスポット事業」として企画。中学校コミセンによる居場所づくり普及のため、協働のまちづくり推進事業と連動させて開催した。	<ul style="list-style-type: none"> 開催日：10 月 13 日（金）14:00～15:30 参加者：9 名 会 場：高丘中央集会所(高丘コミセン)

<p>第4回 知る、見る、つくる ブックスポット勉強会 テーマ：本がつなぐ地域の憩いの場 ＊「明石まちなかブックスポット事業」として企画。校区まちづくり組織による居場所づくり普及のため、協働のまちづくり推進事業と連動させて開催した。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・開催日：11月4日（土）10:00～11:30 ・参加者：15名 ・会場：藤江駅前オアシス(藤江まち協)
<p>あかしまちづくり懇談会 「つながるまちのつくり方 ～防災・環境・参画から考える～」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・開催日：11月11日（土）14:00～16:00 ・参加者：124名 ・会場：ウィズあかしフリースペース他
<p>年末調整に関する勉強会</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・開催日：11月24日（金）10:00～12:00 ・参加者：15名 ・会場：ウィズあかし学習室 701
<p>市民活動と産官学共創 ～持続可能なグリーン社会の実現～</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・開催日：3月28日（木）14:30～17:00 ・参加者：59名 ・会場：ウィズあかしフリースペース



▲まちづくり懇談会の様子



▲まちづくり懇談会「参画」分科会の板書記録

④その他、推進に必要な取り組み

学校教育や地域福祉など地域づくりに関連する各種テーマに取り組む明石市内の関係機関と、随時情報交換や連携についての打ち合わせを行った。またその中で、意見交換のファシリテーションスキルなど、当法人が持つノウハウを活用した具体的なサポートも行った。

【関連部署との連携内容】

連携機関	連携内容
明石市地域共生社会室 明石市社会福祉協議会 (及び各総合支援センター)	<ul style="list-style-type: none"> ・各層生活支援コーディネーターとの情報交換、研修機会に関する助言 ・総合支援センター圏域内の会議開催、運営支援 など

明石市教育委員会学校教育課 (及び各小学校)	・地域づくりと学校連携における情報交換 ・学校教員と地域住民の意見交換におけるファシリテーション支援 など
---------------------------	--

(2) 校区直接支援

まちづくり計画策定に向けた動きが昨年以上に加速度的に進み、全く動きのない校区はないという状況に至っている。従来のプロジェクトチームの設置やアンケート、意見交換会等ではなく、より校区性に合わせた策定手段をとる校区も生まれており、支援者側も柔軟にアドバイスや事例提供、話し合いの支援を行った。

その他の地域交付金受託校区等についても、まちづくり懇談会や他校区視察をきっかけに新たな動きや見直し等について、地域の状況に合わせて支援を進めた。

① 地域交付金受託校区

地域交付金受託校区は主に組織体制や活動の見直しに向けて、会議や意見交換のサポート、また他校区の事例など情報提供を通じて支援を行った。

校区名	松が丘 / 朝霧 / 人丸 / 中崎 / 林 / 鳥羽 / 和坂 / 大久保 / 山手 / 魚住 / 錦が丘 / 錦浦
-----	---

② 計画書策定・見直し校区

まちづくり計画書を策定するための会議や意見交換の場づくり、組織強化につながる支援や、今後の活動を検討していくための情報提供などを中心に実施した。

校区名	大観 / 王子 / 沢池 / 藤江 / 花園 / 大久保南 / 高丘東 / 谷八木 / 二見 / 二見北 / 二見西
-----	--

③ その他校区

まちづくり計画書策定に着手する前の校区に、組織体制や活動など各校区まちづくり組織に必要な支援を通じて、計画書策定に向けた意識付けを行った。

校区名	明石 / 貴崎 / 高丘西
-----	---------------

④ 西明石活性化推進協議会（野々池地区）への支援

2022 年度から西明石活性化推進協議会（野々池地区）による上ヶ池公園の活用についての議論が始まった。今年度は西明石活性化推進協議会（野々池地区）の調整会議を中心に出席し、ハード面だけでなく、ソフト面を中心に上ヶ池公園の活用を検討していくことをアドバイスした。次年度には、公園の活用方法についてまとめた提案書を作成していく予定である。

II. 生涯学習の推進事業

中学校コミセン改革においては、昨年度から引き続きフリースペースの設置や図書スペースの開設など、多様な利用を促す場づくりを通じて「学びのハブ」を体現するような動きが各地で見え始めている。そのような各コミセン主体の取り組みを定着させていくために、今年度は研修の実施や生涯学習事業の手引書の見直しを進めた。また、サークル制度など施設の使い方についての議論が起りかけており、これらのきっかけを通じて学びのハブとしてのコミセンを意識していけるよう支援した。

あかねカレッジにおいては、3年目で全コースの運用が始まった。ライトコースは3年目も700人弱の受講があり、横ばい状態ではあるが一定程度の利用ニーズがある場として機能している。一方で、地域で活かすコースは受講申込過少により休講するなど、十分に機能していない部分も見受けられる。コース内外においてあかねカレッジ全体の仕組みづくりが必要になっており、カレッジの運営支援を行うとともに、今後に向けての企画提案も進めた。

いずれの事業においても、今後はより学びをつなぐコーディネート役の役割が重要になってきている。その点を意識しながら継続して支援をしていきたいと考えている。

1. 中学校コミセン改革支援事業

今年度は特徴的な動きとして、サークルなどの登録制度のあり方について見直しが始まった。現行の制度が十分に機能していないことがエリアマネージャー会議で共有され、地域の生涯学習の拠点としてのどのような取り組みが広がり、またサポートしていくとよいかについて意見交換が進められた。

その他にも、フリースペースなど多様な住民が集いあえる場づくりなどが広げられており、事例として積み重ねられるよう個別支援を行った。そのような取り組みが学びのハブとして重要であることを共通認識していけるよう、コミュニティ・生涯学習課と連携して講座企画や運営の手引書見直しを進めた。今後も研修などを通じて理解を高める機会が必要だが、学びのハブの言語化を進めることができた。

(1) 各中学校コミセンへの支援

各中学校コミセンの運営状況の把握を行いながら、それぞれのエリアマネージャーのモチベーションや課題意識に合わせて、「学びのハブ」としての機能が充実していくように個別に運営支援を行った。特に今後他のコミセンへ横展開していけそうな取り組みに注力して支援を行い、事例化につながっている。



▲望海コミセン 住民との意見交換会

【支援内容】

コミセン	注力した支援ポイント
------	------------

望海	・中学校コミセン周年冊子の企画と住民との意見交換会の運営支援
大久保北	・フリースペースなど拠点づくりへの助言、中学校や近隣高校との連携強化の支援
高丘	・ブックスポット（図書スペース）の事例化支援
二見	・フリースペース開設準備に向けた支援

(2) 全中学校コミセンに向けた支援

① エリアマネージャーへの意見交換・情報交換の機会づくり

エリアマネージャーが運営上で気になっているテーマなどについて、全エリアマネージャーが一同に介する「エリアマネージャー会議」などで意見交換や情報交換を行う機会づくりを支援した。今年度はサークルなどの登録制度やコミセンの使い方などについて話し合わせ、拠点としてのコミセンのあり方について意見交換し、考え方をすり合わせる機会となっていた。

【支援内容】

研修機会	回数	内容
エリアマネージャー会議	12回	<ul style="list-style-type: none"> ・コミセンまつり、周年行事の開催、取り扱い ・講座の申込みのあり方 ・上半期の市民講座の企画・運営の振り返り ・コミセン登録制度（サークル制度）の課題、気になる点、理想の姿 ・コミセン内施設での飲食のあり方 など
登録制度検討プロジェクト会議	1回	<ul style="list-style-type: none"> ・現状のサークル制度に対する課題と理想の整理検討 ・今後のプロジェクト会議での検討方法の協議 など

② 研修機会の実施

今年度は学びのハブを実現していくために必要となる考え方や事例を学ぶ機会として、研修を企画した。参加したエリアマネージャーからは先進事例を学ぶことで、現場で行っている講座実施のあり方などを考え直す感想が聞かれた。また、ホームページを活用した広報をさらに活発にさせていくための研修を開催した。



▲地域における学びの場づくり研修

【開催内容】

研修機会	開催日時	内容	延べ参加者数
「地域における学びの場づくり研修」	6月27日（火） 15:00～17:30	<ul style="list-style-type: none"> ・那覇市若狭公民館の取り組み事例 ・地域住民が主体的・継続的に取り組む生涯学習のあり方 など 	15名

まちナビ AKASHI 中学校コミセンページの更新研修	7月21日(金) 13:30~15:30	<ul style="list-style-type: none"> ・ブログ記事の書き方 ・画像データの更新方法 ・固定ページの編集方法 など 	18名
-----------------------------	-------------------------	---	-----

③ 拠点・制度等の整備

エリアマネージャー会議でサークルの登録制度に関する課題点が共有されたことをきっかけに、コミュニティ・生涯学習課と登録制度のあり方検討会議が始められた。検討会議ではそもそもの制度の目的や意義の理解からはじめ、理想的にはどのような状態を目指すべきか、そのためにどのような制度のあり方が考えられるか等の今後の方向性などについて検討を重ねた。また、エリアマネージャーとのプロジェクト会議を発足し、制度見直しへ具体的に検討を進めていくこととなっている。

【支援内容】

研修機会	回数	内容
コミュニティ・生涯学習課との登録制度のあり方検討会議	6回	<ul style="list-style-type: none"> ・エリアマネージャー会議で出された制度の課題点の確認 ・制度見直しに向けた方向性、進め方、スケジュールの検討 ・制度の構築時の背景と目的の確認 ・プロジェクト会議のメンバー募集方法の検討 など

④ 広報支援

まちナビ AKASHI による各コミセンのホームページの運営支援の他、複数のコミセンが独自に実施している「LINE 公式アカウント」の運営支援を行った。サービスの仕様が変更されたことに伴い、改めてサービス・制度の現状を可視化した。中学校コミセンにおいてどのような活用方法があるかについて、エリアマネージャー会議で情報提供をした。

⑤ 「中学校コミセン生涯学習事業の手引き」の見直し

中学校コミセンのあり方見直しを通じて、中学校コミセンの役割は「地域の学びのハブ」であると整理されたものの、その具体的な取り組みなどは不明瞭でイメージが湧きにくい状況だった。そのような中で、2022年に策定された第2次明石市生涯学習ビジョンに記載されたこれからの地域での生涯学習の役割や、これまで育まれてきた各コミセンでの活動事例などをまとめた手引書へと改定した。今後はこの手引書を元に、現場での実践や研修時などへの活用につなげていくことが必要だと考えている。



▲中学校コミセン生涯学習事業の手引

2. 高齢者の主体的な学習機会支援（「あかねカレッジ」の運営支援）

今年度は、既存のライトコースと科目別コース5学科に加え、科目別コースに新たな5学科と地域de活かすコースが企画され、予定されていた全コースが始まった。しかし、地域de活かすコースは申込者が少なく休講となった。その要因として、コースの内容・あり方に加え、受講生や市民へのコーディネートに課題があると考えられる。

そのような状況を踏まえ、今後のあかねカレッジ全体の運用について改めて検討していく必要性が生まれている。新たな受講生の増加を図るとともに、受講生の学びの発展に向け企画内容とコーディネートをいかに行うかなど、明石市・事務局に対して提案するとともに、あかねカレッジの充実に向けた各種運営の支援を進めた。



▲科目別コース ものづくり学科

(1) あかねカレッジ各コースのコーディネート、各コースの運営支援

あかねカレッジ3年目となる中でカレッジ全体の現状分析を行い、課題点などを整理すると同時に改善に向けた企画提案を行うなど、関係各所との調整を進めた。特にコース間の学びの循環やそのための仕掛けづくりについて会議などで意見交換・提案を行い、カレッジ内での新たな交流機会やサークル情報の可視化などにつながった。

【取組内容】

内容	詳細
各種データ等の運営状況の分析・実態把握	・あかねカレッジにおける学びの循環状況などを把握するために、ライトコース「次の学びにつなげるためのふり返り会」アンケートや各コースの受

	講の変遷などをデータ分析
会議等での各コースの企画に関する助言などの支援	・新規利用者獲得に向けた企画や、受講生間の交流機会づくりなど、3つの各コースを充実したものにしていくための関係各所との企画・検討
各コースの充実に向けた企画支援	・科目別コース内の学科講師の検討及び調整 ・あかねカレッジ全体の現状、課題点の整理 ・交流機会づくりに関する情報提供 ・中学校コミセンにおける登録団体の紹介方法 など

(2) ライトコースの運営支援

ライトコースの運営にかかる資料作成や各コミセンからの問い合わせ対応など、ライトコース全般の支援を行った。今年度は新たな受講生獲得に向けた体験企画の実施や、主体的な人生の過ごし方を探るオンライン講座「ロールモデル講座」の見直しを進めるなど、1年目から継続してきた内容の見直し、内容の充実に注力した。



おためし体験キャンペーンチラシ

【取組内容】

内容	詳細
ライトコースの運営支援	・コミセンからの相談・サポート対応 ・運営にかかる資料・データの作成 ・その他運営にかかる支援
講座の企画実施・運営支援	・ロールモデル講座の企画・実施（全6回） ・オンライン講座の運営支援（全11回） ・ロールモデル講座の企画見直し
ホームページ及びデータベースの運営・保守管理	・あかねカレッジホームページの運営 ・データベース kintone の運用
ライトコース新規受講生獲得に向けた企画	・ライトコースオンライン講座おためし体験キャンペーンの実施
広報物の作成・PR	・ライトコース講座一覧の作成 ・SNS、ホームページの運営
翌年度ライトコースの開催準備	・受講生ファイルの準備 ・各種グッズの作成・配布
その他運営支援	・エリアマネージャー、コミセン職員向け勉強会の開催

(3) その他、あかねカレッジ全体の運営にかかる企画・支援

あかねカレッジの対象となる市民に対し、学びのきっかけを提供するために、翌年度の受講案内パンフレットやチラシ、ホームページの作成を行い、広く広報を行った。また、あかねカレッジ全コースの受講生の学びを充実させていくために、受講生専用のホームページの作成やコーディネーターの運営支援などにも取り組んだ。



▲あかねカレッジホームページ

III. 公共施設の管理運営事業-複合型交流拠点ウィズあかしの運営-

ウィズあかしの運営において、「わたしとまちがつながる交流拠点」をコンセプトとする第2期指定管理期間（2023～2027年度の指定管理期間、以下「2期目」）の1年目となる2023年度は、2022年度までの第1期指定管理期間で培ったノウハウも活かしながら、ここから5年間を見据えた「土台づくり」をテーマとした。

1. 複合型交流拠点ウィズあかし（明石市生涯学習センター及びあかし男女共同参画センター）の運営

2023年度のテーマである「土台づくり」を進めるにあたり、3つの重点方針を立て運営をした。

1つ目は「コーディネーター充実のための業務整理と効率化」である。なかでも、窓口業務で負担やトラブルの多かった料金の支払いを、現金のみからキャッシュレス対応できるよう仕組みを構築し、窓口業務の効率化につながった。それにより、利用者のニーズを把握し、情報提供に時間を使うことができ、質の高いコーディネーターにつながっている。

2つ目の「相談業務の拡充」では、男女共同参画センターとして実施する3つの相談（面接、電話、就業）の受付の一本化、『予約電話相談』とダイレクトに相談員とつながる『ほっとライン』を新設した。メニューや相談枠を増やしたことで市民にとって身近で利用しやすくなり、相談の利便性をより高めることができた。また、グループ相談「ミモザの会」を新設したことで、相談者同士だからこそ見つかる気づきなどからエンパワメントを促す機会づくりができた。

3つ目は「センターとまちがつながる事業の検討及び準備」である。まちとつながる拠点づくりには、まずセンターが認知されることとまちの情報を収集・集約することが重要だと考える。そこで、SNSを活用した情報発信と、ウィズあかし内の情報ブースやホームページで情報を集め、整理し、発信していくことを進めた。また、リニューアルした交流事業「Like café つむぎ」に、サロンの運営方法を参考に目的での参加があるなど、事業を通じてセンターを知ってもらおうきっかけづくりもできつつある。

そのほかに、今年度のウィズあかし専門委員会（**後述**）2. 施設管理運営④ 市民みんなで作るウィズあかしを考える会議「ウィズあかし運営委員会」の開催）では、外部の専門家から各分野・事業におけるあり方についてアイデアをいただく機会として開催。重点方針に加え、「わたしとまちがつなが

る交流拠点」の実現に向け、今後の具体的なアイデアを検討する取り組みも行った。

(1) まちの魅力の発信、可視化・まちを深める市民研究を拡げる（提案事業）

2期目のコンセプトでもある「わたしとまちがつながる交流拠点」を目指すために、「まち」の捉え方や市民と「まち」との関係性を探りつつ、既存の事業との連動性や新たな企画の立ち上げなど仕組みづくりの検討を進めた。

(2) 生涯学習（高齢者学習含む）と市民活動及び男女共同参画の連動（複合型事業）

① 誰もが参加できる多様なコミュニティサロンの開設

オープンなサロンでは、参加者の減少・固定化が課題であったつながりサロン（ヒルつな、ヨルつな、サタつな）の見直しを図り、多世代が交流の中から新たな発見や知識を得られる機会として好きをもちよる「Like café つむぎ」をスタートした。また、クローズドなサロンでは、グループ相談機能をもった「ミモザの会」を新設し、各回テーマを設けて共通の話題からお互いの悩みなどを共有できる場づくりを実施した。

【開催内容】

テーマ	実施回数	延べ参加者数
ヒルつな	12回（毎月第1木曜日）	54名
ヨルつな～夜のつながりサロン～	9回（毎月第2水曜日）	30名
サタつな	12回（毎月第3土曜日）	52名
おとなのぬりえサロン	12回（毎月第4水曜日）	128名
Like café つむぎ	6回（毎月第2土曜、第3金曜日）	35名
ミモザの会	4回（毎月1回）	14名



▲Like café つむぎ



▲ミモザの会 チラシ

② 複合型大型イベントの実施

複合型大型イベント「ウィズフェス」を「市内で起こっている様々な活動と市民が出会うツール」のひとつと捉え、活動や学びと市民が出会い、つながりやすくなるきっかけとして実施した。今年度は、エントリー条件を緩和して参加可能範囲を広げるなど、基盤の見直し及び強化を行うことで新しい交流やつながり、多様な学びに出会えるきっかけとなった。

【開催内容】

開催日	内容	延べ参加者数
12月9日(土)・10日(日)	・ステージ発表：24 団体 ・ミニステージ発表：8 団体 ・ブース出展：39 団体 ・みんなの学校：31 コマ ・活動紹介パネル展示：44 団体	約 1,000 名



▲みんなの学校



▲ブース出展

③ 9階稼働率向上に向けた取り組み

明石文化国際創生財団と共催で「ひとつぶのたねクラシックコンサート」を開催し、9階施設の稼働率の向上に取り組んだ。

【開催内容】

開催日	延べ参加者数
9月9日(土) 11月11日(土)	522名

(3) 生涯学習活動・地域で活躍する人材の発掘及び育成支援

① 「みんなの学校」等を通じた人材発掘と市民講師の育成

市民講師と出会う・育てる事業として、講座当日まで講座づくりや広報について学べる仕組みづくりを行った。まずはチャレンジしてみることをサポートし、その後の活動につなげるきっかけとして実施した。

【開催内容】

講座名	開催日	内容	延べ参加者数
チャレンジ屋台（個人）	5月7日(日)	講師：トマ トモヤ テーマ：アメリカ英語の発音	9名
チャレンジ屋台「夏の学び発見市」事前相談会	5月12日(金)	募集前の不安や疑問を取り除くために開催。	2組
チャレンジ屋台「夏の学び発見市」相談・交流・説明会	5月20日(日)	当日まで説明・発表者同士のつながりづくりのために実施。	4組
広報スキルアップ講座～イベントチラシ編～	6月3日(土)	何のために広報をしたいのか等の情報を整理しながら、コツを学び合える機会。	5名
チャレンジ屋台「夏の学び発見市」	7月17日(祝月)	①講師：エコベ テーマ：明石初！古着チャリティでゴミ減&こども支援 ②講師：心理カウンセラーヒロ	現地：6名 ライブ視聴：23名

		テーマ：人と人が繋がるコミュニケーション ③講師：みらいくん テーマ：身近な SDGs。ネイチャークラフト。 ④講師：TEAM-3A テーマ：未来を担うユース世代の活動	
チャレンジ屋台「今日の終わりにちょこっと夜学」事前相談会	8月26日(土)	募集前の不安や疑問を取り除くために開催。	2組
チャレンジ屋台「今日の終わりにちょこっと夜学」交流・説明会	9月16日(土)	当日まで説明・発表者同士のつながりづくりのために実施。	3組
チャレンジ屋台「今日の終わりにちょこっと夜学」講座づくりワークショップ	9月30日(土)	伝えたい情報を整理し、講座を企画していくために開催。	4組
チャレンジ屋台 「今日の終わりにちょこっと夜学」	11月17日(金) 11月22日(祝水)	①講師：桂花 テーマ：あなたを後押しするひと文字を書きましょう！ ②講師：のん テーマ：もっと楽しくなるみんなに伝えたい節約術 ③講師：avenir graphologie テーマ：幸せを呼ぶ筆跡診断 ④講師：つきー テーマ：怒れ！ジェンダーバイアス！	現地：21名 ライブ視聴：9名
ウィズフェス 2023 みんなの学校 (再掲)	12月10日(日)	市内で活動する多様な団体、個人が体験や授業形式で自らの活動内容等を市民に伝えるイベント	31組 (新規7組)
チャレンジ屋台「今日の終わりにちょこっと夜学」交流説明会	2月17日(土)	当日まで説明・発表者同士のつながりづくりのために実施。	3組
チャレンジ屋台「今日の終わりにちょこっと夜学」オープンデー	2月24日(土)	発表に向けて話す内容を情報整理しながらお互い客観的な視点を入れる。	3組
チャレンジ屋台「今日の終わりにちょこっと夜学」リハーサル	3月30日(土)	当日を見据えて音声や配置のリハーサルを実施。	4組



▲チャレンジ屋台「今日の終わりにちょこっと夜学」



▲広報スキルアップ講座

② ウィズあかし登録メンバーズ制度を通じた人材発掘と育成

登録メンバーズを中心とした交流機会「ウィズゆう」では、団体の活動PRや活動を体験できる機会となる「フリースペースでのイベント開催」をテーマに開催。様々な活用方法でイベントを開催

している団体に事例紹介をしてもらい、まだイベント開催したことがない団体の活用を促す機会とした。事例紹介に合わせ、参加団体同士で意見交換も行い、団体のステップアップや新たなチャレンジにつながるきっかけとなった。

◎登録団体数：207 団体 ◎フリースペースでのイベント開催数：208 件

【ウィズゆう開催状況】

開催日	内容	参加者数
5月27日(金)	・フリースペースを活用したイベント事例の共有他	23 団体

(4) 生涯学習事業の推進

① シビックプライドを醸成するための「あかしウエルカムプレイス」の設置

市民がまちに愛着を持ちその人らしく関わりたい思うきっかけをつくるために、明石を知る機会として「あかしウエルカムプレイス」を設置した。生涯学習に限らず、男女共同参画の企画と連動することで、まちへの興味や自分自身が関心ごとに気付くきっかけを目指した。

【取り組み内容】

開催月	内容
5月	「助成金」をテーマにした特設ラックを設置 「あかしウエルカムプレイス」から「あかしが見える場所～しるみるあかし～」に変更
6月	「男女共同参画週間」をテーマにした特設ラックを設置 あかし〇〇マップ「家族で楽しめるお気に入りの場所」の掲示
7月	「こども向け夏休み講座・セミナー」をテーマにした特設ラックを設置
9月	「国際平和デー」をテーマにした特設ラックを設置
10月	「里親月間啓発」に関する特設ラックを設置
11月	「アートな催しinあかし」に関する特設ラックを設置 あかし〇〇マップ「家族で楽しめるお気に入りの場所」のグーグルマップQR掲示
12月	あかし〇〇マップ「冬休み・年末年始よく行くお気に入りの場所」

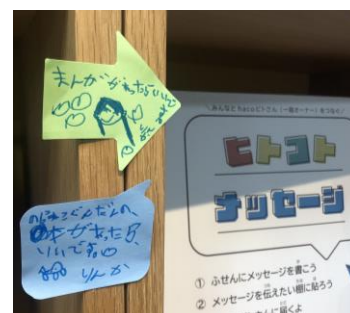
② 新たな活動につなげるコーディネート

紙媒体で発行していた「講師カタログ」を、いつでもだれでもどこでも講師情報を見て、依頼できるように「web 版講師カタログ」としてリニューアルした。講師情報をデータ上で管理すること

で、講師の情報登録の簡便さとコーディネート時の利便性を向上させた。また、講師実績を講師自ら書き込むことで情報を更新し続けることができるような仕組みづくりを行った。

③ つながる本棚 hito-haco の運営及びブックスポットへの支援

hito-haco の活性化に向け、hito-haco を利用するオーナーの交流会を開催した。まずはオーナー自身が本を通じた交流を体験する機会として開催し、今後の hito-haco の場づくりについてのアイデア出しを実施。その中から、オーナーと読者をつなぐ「ヒトコトメッセージ」企画などが提案され、実現にもつながった。



▲ヒトコトメッセージ

【開催内容】

企画名	開催日	内容	延べ参加者数
第1回 hito-haco オーナー交流会	11月26日(日)	自己紹介（オーナーお薦めの本の紹介）やhito-hacoに対する意見交換を実施	5名

【取り組み内容】

開始月	内容
7月	kintone を用いた貸出システムの構築（ウィズあかし図書ライブラリとの一本化）
1月	オーナーと読者をつなぐ「ヒトコトメッセージ」の実施

④ まちの魅力と出会うための地域学講座の実施

地域学講座「あかし楽講座」では、より多様な学びを多くの市民が体験できるように、学び方・時期・対象などを見直して実施した。座学だけでなく現地での体感型を加えたり、申込時期を一年単位ではなく分割して申し込めるように変更したりするなど、実験的に行った。その結果、定員を超える申し込みがあった講座や、講座後に参加者同士で交流するつながりがうまれたことなど、参加や交流を広げる手法においては今後の地域学の実施に活かせるチャレンジを重ねることができた。

【開催内容】

講座名	開催日	内容/テーマ	参加者数
あかし楽講座 第1クール 「親子で読み解く竹取物語～どうする!?かぐや姫からの難題」	7月30日(日) 8月6日(日) 8月12日(土)	①講師：義根益美 テーマ：絵巻物から読み解く「竹取物語」の世界～どうする!?かぐや姫～ ②講師：中村健史 テーマ：もっとくわしく読んでみよう「竹取物語」～どうする!?竜の首の玉～	3組 (6名)

		③講師：川原諭 テーマ：My「竹取物語」絵巻物 作り～読み書きを形に～	
あかし楽講座 第2クール 「明石の「まつり」のナゼ？をサグ ル」	9月24日(日) 10月21日(土)	①講師：荒川裕紀 テーマ：「まつり」「フィールド ワーク論」を学ぶ ③講師：荒川裕紀 テーマ：それぞれが調べた「まつ り」を発表	4名
あかし楽講座 第3クール 「おとなのための明石のお酒を学ぶ 講座「酒学」」	2月22日(木)	講師：宮本博 会場：ウィズあかし	42名
あかし楽講座 第3クール 「あかしのお酒を愉しむ in 茨木酒 造」	3月9日(土)	講師：森本眞一 案内：茨木幹人（9代目蔵元） 会場：茨木酒造	18名

⑤ まちをより深めるための「マイあかし学学会」の企画・準備

ねらいやプログラムを再設定しながら進めたあかし楽講座とのつながりを意識し、興味のある明石のひと・もの・ことを主体的に探求する市民が参画できる市民研究所「あかし学研究所」や「マイあかし学学会」の実施に向けて準備を進めた。

⑥ 子育て・ユース世代支援強化による全世代への学習機会の検討

全世代へ学習機会を提供していくために、子育て世代が関心を持ちそうな「自分のための時間」をテーマに講座を開催した。また、あかし市民図書館と共催することで、ウィズあかしとは関わりの薄い市民へアプローチできる機会となった。

【開催内容】

講座名	開催日	内容	参加者数
おはなしたべちゃえ「ノンタンのたんじょうび」クッキーパーティー	3月17日(日)	あかし市民図書館共催 講師：横田久代(管理栄養士)	6組 (12名)
北欧時間に学ぶ子育てママパパのためのHygge(ほっこりゆったり時間)のつくりかた	3月30日(土)	北欧の時間の使い方を知ること で、自分の日々を見直すきっかけ として開催。 講師：日暮いんこ(北欧時間著書)	13名

⑦ その他の取り組み

あかし楽講座をきっかけに、多くの市民がまちを身近に感じたり、学びを楽しめたりできるような仕組みづくりや講座のあり方などについて議論を重ねる場としてあかし学実行委員会を開催した。

【「あかし学実行委員会」開催状況】

開催日	内容	延べ参加者数
4月21日(金)、9月21日(木) 11月21日(火)、3月28日(木)	2023年度のあかし楽講座について	20名

(5) 市民活動の支援及び地域、行政との協働の推進

① ステップアップのための講座や交流会の開催

市民活動団体の持続的な活動や活動の広がりを見据えて、「助成金」と「広報」をテーマに学びの機会を提供した。特に、「助成金」については団体の状況やステップに合わせて複数回開催することで、市民活動団体へ資金調達の重要性の意識づけにもつなげた。

【開催内容】

企画名	開催日	内容	延べ参加者数
助成金の基本やポイントが学べる 助成金セミナー	4月8日(土) 4月15日(土)	助成金の探し方や申請書の書き方などを学ぶ。 講師：長澤潤一郎（ひょうごコミュニティ財団）	現地：17名 オンライン： 22名
トヨタ財団 国内助成プログラム 公募説明会	5月13日(土)	シミンズシーズ共催 地域の多様な資源に気づいて計画し申請内容への理解を深める。 講師：トヨタ財団	現地：18名 オンライン： 26名
ウィズゆう+	8月19日(土)	12月開催のウィズフェスに向けた説明会及びメンバーズカードや市民活動団体との交流・意見交換。	45名
NPO・地域活動の資金調達力を高める！助成金申請のコツ	10月21日(土) 11月18日(土)	市民活動団体やNPO法人が活動の発展に向けて、助成金のしくみや背景を知り、申請のコツを学ぶ。	25名
ウィズフェス 2023 飾りつけサポーター交流会	11月26日(日) 11月29日(水)	12月開催のウィズフェス2023に向けて、館内の飾りつけを含めた準備。	8名
助成金ぶち勉強会	2月10日(土)	ウィズゆう+内で行い、助成金申請についての基本やコツを学ぶ。	53名
ウィズゆう+ あかし市民活動発表・交流会	2月10日(土)	明石市コミュニティ・生涯学習課共催あかし市民活動応援助成金交付団体の活動発表と交流会。	53名
広報×まなびアイ vol.1 チラシ編	2月17日(土)	広報のポイントやコツ、オンラインビジュアルツール「Canva」の活用方法について学ぶ。	9名
広報×まなびアイ vol.2 SNS編	3月2日(土)	市民活動の広報とSNSの相性や、各SNSの違い、著作権と肖像権について学ぶ。	8名
広報×まなびアイ vol.3 まちナビ AKASHI 編	3月16日(土)	活動実施の広報だけでなく、活動の経過や報告の広報も重要ということを学ぶ。	5名
NPO・地域活動の資金調達力を高める！助成金申請のコツ キホン編 第1回目	3月21日(木)	市民活動団体やNPO法人が活動の発展に向けて、助成金の仕組みや背景を知り、申請のコツを学ぶ。	現地：7名 オンライン： 3名

② エリア別・テーマ別の交流・活動機会の検討及び実施

地縁型市民活動団体と分野別市民活動団体の交流の機会として「エリア別コラボミーツ」の開催などの検討を重ねた。

(6) 男女共同参画・女性の活躍推進

① 男女共同参画に関する先駆的テーマの普及啓発

広く一般の方が男女共同参画に触れる機会づくりのために、映画やワークショップなど参加しやすい企画を実施することで普及啓発を進めた。

【開催内容】

企画名	実施日/期間	内容
若年層性暴力被害予防月間	4月1日(土) ～4月30日(日)	内閣府が定めた若年層の性暴力被害予防月間におけるポスター、本の企画展示。
パパの家事育児応援イベント「パパ応援DAY」	6月17日(土)	インクルーシブ推進室との共催事業。父の日にちなんで、男性の育児参加を促す意図も込めて実施。 参加者：170名
男女共同参画週間	6月23日(金) ～6月29日(木)	① あかし男女共同参画週間映画観賞会「ビリーブ」参加者：380名 ② ファミフォト～仲良し家族の笑顔展～ ③ 図書等の企画展示(あかし市民図書館と連携含む)
起業応援セミナーあかし2023	7月8日(土)	明石市内の創業支援機関共同 市内で起業を目指す個人等を対象に創業の普及啓発や機運醸成を図るセミナーを開催。 参加者：46名 オンライン：27名
さとおや月間	10月1日(日)～ 10月31日(火)	さとおや課、あかし市民図書館連携 図書や資料の展示を行い里親制度の啓発を行った。
パープルリボンキャンペーン (女性に対する暴力をなくす運動)	11月12日(日)～ 11月25日(土)	① パープルリボンツリーの飾りつけを作ろう！ 開催日：10月24日 参加者：14名 ② 図書等の企画展示、啓発用ティッシュの配布。
あかし女性応援メッセ	2月18日(日)	あかし女性応援ねっと共催 男女問わず自分らしく生きる社会を目指して実施。 参加者：147名
国際女性デー	2月下旬 ～3月8日(金)	① ミモザのストラップを作ろう！ 開催日：3月2日 参加者：15名 ② 図書等の企画展示

② 当事者・家族等に対するエンパワメントセミナー

今年度は講座・セミナーだけでエンパワメントを目指すのではなく、その後に「語り合いの会」や「練習会」を設けることで持続的なエンパワメント支援を行った。

【開催内容】

講座名	開催日	内容	参加者数
コラージュで自己表現	6月3日(土) 1月13日(土) 3月9日(土)	コラージュの手法を使って自分を表現する場として開催。	26名

本をとおして自分と向き合う時間	5月11日(木) 7月8日(土) 9月14日(木) 11月30日(木) 1月27日(土) 3月14日(木)	テーマに関心のある人を対象に本に関する自分の想いを他者に伝える機会を持つことで本をきっかけにした人とのつながりの場。	51名
女性のための働き方セミナー シングルマザーのためのマネープラン	6月10日(土)	教育費や生活費などについてと自分らしい働き方と将来に向けたライフプランを考えるきっかけ。	12名
HSPの良さを活かす考え方とコミュニケーション	9月9日(土)	HSP当事者の悩みを軽くする考え方や対処法を専門家から学ぶ。	34名
HSPの語り合いの会	9月30日(土)	一人で抱え込むのではなく気持ちを共有、共感しあうことで孤立感が薄らげる場として実施。	11名
職場で役立つコミュニケーション アサーティブコミュニケーション	10月14日(土)	「相手に言いたいことが言えない・攻撃的な言い方をしてしまう」などと感じる方向けの講座。	34名
HSC講座ひといちばい敏感な子の理解と子育てのアドバイス	11月1日(水)	HSCの特性に対する理解を深め、関わり方を知って子育てに自信を持てるきっかけ。	19名
HSC保護者の語り合いの会	11月1日(水)	HSCの保護者同士が気持ちを共有・共感しあい、苦労をわかちあうことによって、孤立感が薄らぎしんどさが軽減される。	6名
アサーティブコミュニケーション練習会	11月3日(金) 11月25日(土) 12月23日(土)	アサーティブコミュニケーション講座参加者を対象にした練習会を実施。	14名

③ 多様なチャレンジを応援するキャリアデザイン・ライフデザイン支援の実施

具体的なスキルを学べる「SNS 活用講座」や働くことへの思いを共有する「就業サロン」などを実施することで、それぞれのキャリアデザイン・ライフデザインに向けて、意欲的に次のアクションにつながるような機会づくりを行った。

【開催内容】

講座名	開催日	内容	参加者数
再就職準備セミナー	10月11日(水)	ハローワーク明石マザーズコーナー共催 保育やライフステージに合わせたお金の知識とライフプランにあった働き方を考える機会として実施。	23名
就業サロン	11月29日(水) 1月17日(水) 3月6日(水)	多様な考え方に触れることで新たな気づき、自分らしい働き方を発見することを目的として実施。	15名

起業のための SNS 活用講座 ～起業準備と Instagram を活用したネットワークづくり～	2月10日(土)	起業準備の方法やSNSでのネットワークの構築方法を学ぶことで起業への意欲を高め、仲間づくりの場として実施。	18名
---	----------	---	-----

④ 自助グループの立ち上げ・運営支援に向けた準備

自助グループ支援では、立ち上げ・運営支援のための制度を確立するとともに広報活動もスタートし、次年度の開設支援開始に向けての準備を行った。

【開催状況】

開催日	延べ参加者数
10月21日(土)、11月25日(土)、12月23日(土)、1月20日(土)、2月6日(火)、3月5日(火)	21名

(7) 関係機関・団体、ネットワーク組織と連携した事業等の推進

多様な関係機関などとの情報交換のための会議や事業連携、外部機関への啓発活動を行った。今年度から新たに参加したあかCネット（明石文化関係施設等ネットワーク）など、連携の開拓と強化を進めた。

【会議体】

連携機関	開催日
関係機関連絡会議	4月13日(木)、6月8日(木)、8月10日(木)、10月12日(木)、12月14日(木)、2月8日(木)
あかCネット会議（明石文化関係施設等ネットワーク）	8月3日(木)、2月16日(金)
県内男女共同参画センター等連絡会議	11月8日(水)
男女共同参画センター・DVセンター連携会議	5月17日(水)

【連携事業】

連携機関	連携内容
兵庫県立男女共同参画センターイーブン	女性のためのチャレンジ相談（通年）
シミズシーズ	トヨタ財団 国内助成プログラム 公募説明会（5月13日）
明石商工会議所、明石市産業振興財団、日本政策金融公庫明石支店	起業応援セミナーあかし2023（7月8日）

明石文化国際創生財団	ひとつぶのたねクラシックコンサート（9月9日、11月11日）
ハローワーク明石マザーズコーナー	再就職準備セミナー（10月11日）
あかし女性応援ねっと	あかし女性応援メッセ（2月18日）
あかし市民図書館	おはなしたべちゃえ「ノンタンのたんじょうび」クッキーパーティー（3月17日）

【その他外部機関への啓発活動】

実施内容	延べ対象者数
神戸学院大学/大学院 心理学部実習生の受け入れ	6名
あかし若者サポートステーション/ボランティア活動の場の提供	74名
就労移行支援事業所 LITALICO ワークス明石/ボランティア活動の場の提供	4名

(8) 情報収集及び提供・発信

① “明石でいちばん広報物が集まる” 情報ブースの拡充による情報収集・発信

「情報ブース」では、明石に関するひと・もの・ことの情報に特化したスペース「あかしウエルカムプレイス」を設置することで、明石でなにか始めてみる・参加してみるきっかけとなるような拡充を進めた。 ◎チラシ受付数：2534件

② 生涯学習・男女共同参画・市民活動を横断した総合ポータルサイトの運営

ウィズあかしのホームページでは、新着情報一覧やバナーを活用し新しい情報やサイト利用者が欲しい情報を届けられるように運用しつつ、情報が古いものにならないように随時更新を行った。

◎年間アクセス数：158,213pv

③ ファンを獲得するための SNS での情報発信

ウィズあかしに興味関心を持つきっかけを目指し、比較的市民の利用率が高いインスタグラムを中心に SNS を活用し、募集などの告知とあわせて、レポートのように講座やイベントの様子を投稿するなど情報発信を行った。

◎フォロワー数

	X(Twitter)	Facebook	Instagram	YouTube
一般財団法人明石コミュニティ創造協会	33	491	—	—
複合型交流拠点ウィズあかし	1026	619	547	132
あかし男女共同参画センター	695	—	—	—

いずれも 2024 年 3 月 31 日現在

④ ウィズあかしを使いこなすための広報紙の発行

昨年度から発行を続けてきた「イベント情報紙 Ru,Ru,Ru」の発行と同時に、内容の見直しを進めた。

有料貸室・フリースペースなどを利用する市民や市民活動団体など、ウィズあかしに少しでも関わりのある市民がウィズあかしの機能や思いに気づくきっかけとなる広報紙を検討している。

◎イベント情報紙 Ru,Ru,Ru 900 部発行（4月号～3月号）

（9）各種相談

① 生涯学習・市民活動に関する相談・コーディネート

学習機会や団体活動に関する様々な相談や、必要に応じて適切な相談先や活動先などへのコーディネートを行うなど、市民の生涯学習や市民活動に関する相談に対応した。

【実施内容】

メニュー	件数	主な内容
相談	274 件	学習機会、団体・法人の運営・設立相談、会計相談、広報相談など
コーディネート	57 件	各種教室・サークル・ボランティア活動の機会へのコーディネート

② 性別に関わらず様々な悩みや就労についての相談を行う

市民にとってより利用しやすい相談室の体制の見直しを図った。具体的には、相談室は3つの相談（面接、電話、就業）の受付の一本化、「予約電話相談」とダイレクトに相談員とつながる「ほっとライン」を新設した。

【実施内容】

相談機能	実施日	内容	人数・件数内訳	
			電話相談	新規 67 件 / 再相談 60 件 ※内DV関連：24 件
女性のための相談	火曜～土曜	女性問題カウンセラーによる女性の様々な悩みに対する電話・面接相談	344 件	新規 67 件 / 再相談 60 件 ※内DV関連：24 件
ほっとライン	水曜 9:00～12:30 金曜 13:30～17:00	電話相談	229 件	新規 91 件 / 継続 138 件 ※内DV関連：47 件
女性のための法律相談	第 3 木曜日	女性弁護士による無料法律相談	41 件	
就業相談	火曜～土曜	女性就労相談員による相談		・電話相談：0 件（新規：0 件） ・面接相談：333 件（新規：91 件） ・出張相談：26 件 ・夜の就業相談：1 件
履歴書・職務経歴書の作成相談	火曜～土曜	女性就労相談員による応募書類の作成相談	78 件	
カードで発見！適職のヒント	火曜～土曜	女性就労相談員による適職に関する相談	57 件	
女性のためのチャレンジ相談	隔月 1 回	女性キャリアカウンセラーによる個別面接相談	16 件	
男性のための電話相談	第 3 水曜日	男性相談員による男性の様々な悩みに対する電話相談	22 件	

（10）調査研究

利用者の潜在的なニーズの把握や利用による変化を確認するため、利用者満足度アンケート調査を実施した。今年度は、実施期間や質問項目の見直しを図り、利用者のより多様な声を聞き今後の施設運営につなげる機会とした。

【実施内容】

期間	12月1日(金)～1月31日(水)
回答数	999件 (339件)
実施方法	<ul style="list-style-type: none"> ・貸室利用者に貸室鍵等とともにアンケート用紙を渡し、返却時に回収 ・主催事業の受講者にアンケート用紙を渡し、回収 ・無料施設など、館内5カ所にアンケート用紙と回収箱、またオンライン回答用のQRコードを設置し、回収

※ () 内は 2022 年度実績

(11) 協働のまちづくり推進事業支援業務との連携・協力

継続して、分野型組織に対する支援において、協働のまちづくり推進事業支援業務と連動させて取り組みを進めた。特に今年度は、ウィズあかし窓口で寄せられる「あかし市民活動応援助成金」をはじめとした活動拡充に関する相談業務やNPO等の法人設立など、活動のステップアップにつながる支援に注力した。加えて、分野型活動支援をウィズあかしから市内全域に広げることを狙い、ボランティア活動の関心層と活動者を求める団体をマッチングする取り組み「ボラまち」の企画準備を進めた。次年度より本格始動を予定している。

(12) 利用者のニーズに合わせた利便性向上

生涯学習・男女共同参画・市民活動を推進・支援していくために、ウィズあかし 7・8・9階に支援型の自動販売機を設置し、その売り上げを今後の原資とした。また、多様な貸室の使い方のニーズに応えられるように準備を進めている。

2. 施設管理運営

(1) 施設の管理運営

窓口の業務効率化による相談・コーディネートの実施のためにキャッシュレス決済を導入した。加えて、問い合わせの多い貸室の備品について、機材を操作が簡単なものに更新したりマニュアルを作成・設置したりすることで、問い合わせをしなくても利用者自身で解決できる取り組みも行った。また、だれもが使いやすい施設を目指し、館内案内の更新にも着手した。

① 開館日数・来館者数・稼働率等

開館日数	310日間 (※参考：2022年度310日間)	
来館者数	291,752名 (196,815名)	(内訳) 有料施設：171,300名 (151,156名) 無料施設 (保育室)：1,412名 (1,147名) フリースペース：119,040名 (44,512名)
有料施設の	66.5% (65.4%)	

稼働率	
-----	--

※ () 内は 2022 年度実績。

② 貸室別稼働率

2023 年度の有料施設における稼働率 66.5% (2022 年度 65.4%)

各部屋の詳細は別添「参考資料：貸室別稼働率一覧」のとおり。

③ 修繕・保守・点検等

貸室利用料などの支払いのキャッシュレス化に伴い、窓口で受付をする際の自動釣銭機の設置やキャッシュレス決済に必要な Air ペイでクレジットカードやバーコード決済に対応した機材を導入した。

その他、適宜点検を行い、その際に異常が認められた箇所や故障した際に施設の運営に多大な影響を及ぼす老朽化設備をまとめ、明石市に提案及び必要に応じて修繕を行った。

④ 市民みんなで作るウィズあかしを考える会議「ウィズあかし運営委員会」の開催

今年度の「ウィズあかし運営委員会」は、幅広く意見を聞く場と専門家と意見交換する場の 2 種類の機会を実施した。専門委員会では、多様なジャンルの専門委員とスタッフが各センター機能について意見交換を行い、今後の事業展開やセンターのあり方について見直す機会となった。

【開催内容】

開催日	内容
8 月 19 日(土)	みんなで作るウィズあかしを考える会「これからのウィズあかしに期待すること」 参加者：19 名
11 月 10 日(金)	第 1 回ウィズあかし専門委員会「複合型交流拠点ウィズあかしについて」 ウィズあかしの全体像・現状や認識している課題の共有、ウィズあかしがキャッチアップしておく情報、視点などに対する意見交換を行った。 参加委員：6 名 スタッフ：7 名
1 月 31 日(水)	第 2 回ウィズあかし専門委員会「あかし男女共同参画センターについて」 現状の共有や相談者との距離感や他機関連携などについて、意見交換を行った。 参加委員：6 名 スタッフ：9 名

⑤ 市民サポーターの活動

市民が事業や拠点の運営に参画できるサポーター制度を運用した。サロンがリニューアルすることにあわせて、つながりサロン（ヒルつな／ヨルつな／サタつな）のサポーターが、自分たちで団体を設立しサロンを続けていくこととなり、サロン開催までのサポートを行った。

【活動内容】

内容	事業	サポーター数 (延べ)
サロンの運営サポート	ヒルつな／ヨルつな／サタつな／おとなのぬりえサロン	70 名
イベントの運営サポート	ウィズフェス (準備)	8 名

拠点の運営サポート	図書コーナーの運営ほか	146 名
-----------	-------------	-------

IV. 情報発信・情報提供に関する事業-全体に関する事業-

中間支援組織である当法人としての「情報の中間支援的役割」を果たすために、多様な情報を整理し、コーディネートや情報発信の際にだれもが使いやすくデータベース化されていることが重要であり、その情報が欲しい人に届くような見せ方・出し方を工夫することが必要だと考えている。そこで、新企画や制度にあわせて kintone (web データベース型の業務アプリ構築クラウドサービス) の活用や、アクセスしやすいホームページへの改修を行った。

(1) ポータルサイト「まちナビ AKASHI」のさらなる充実 「まちナビ AKASHI」では、トップページに特集のバナーを設置することで、社会の流れ・トレンドに合わせた情報や届けたい対象に合わせた情報発信をできるようになった。その改修に伴い、トップページのデザインを変更し、これまで以上に明石のまちのイベント情報や市民活動団体や校区まちづくり組織、中学校コミセンの情報に出会えるように情報の見える化を進めた。



▲まちナビ AKASHI トップページ

(2) 市民講師情報のデータベース化

kintone で情報を蓄積していくことにより、情報を一元化でき、講師情報を依頼者に提供する場合などの利便性につながるためデータベースを構築した。

V. 市民の主体的な活動支援事業

1. あかしまちなかブックスポット事業

「明石まちなかブックスポット」はこれまでの取り組みの中で、本にふれられる大小さまざまな拠点として、多くの方に認知されるようになってきている。ブックスポットは本を通じて人と人が集い交流できる拠点であるが、中には居場所機能をもつ地域活動・市民活動の拠点として運営されているところが多いことがわかった。新たなブックスポットにもそのような傾向がみられ、今年度も続々と多様な新しいブックスポットが増え、全 79 ケ所のブックスポットに拡大している。(2022 年 3 月時点 70 ケ所から 2024 年 3 月現在において 9 ケ所増加)

各ブックスポットでは、多様な運営をされているが、うまく活性化できていない拠点もまだまだ多くあるため、より多くの市民に知ってもらい気軽に立ち寄れる拠点を育むことが重要だと考え、今年度は大きく 4 つの事業を実施した。各事業の内容については、以下のとおり。

(1) 「明石のブックスポット間の交流・学び合いを推進する勉強会」の実施

まちなかで気軽に本を楽しむための拠点づくりを目的とした「知る見るつくる 明石まちなかブックスポット勉強会」では、ブックスポット間の交流・学び合いを推進するために行った。新しくブックスポットの開設を考えている方やブックスポットオーナーが市内の多様なブックスポットを訪れ、事例を知るとともに交流を促すことで、自身のブックスポットの運営に活かす学習機会を提供した。

【取組内容】

	第1回	第2回	第3回	第4回
実施日時	8月29日(火) 18:30~20:40	9月16日(土) 10:00~11:30	10月13日(金) 14:00~15:30	11月4日(土) 10:00~11:40
場所	ウィズあかし8階フリースペース	シェア本棚明石	高丘コミュニティ・センター(中央集会所)	藤江駅前オアシス
参加者	17名(うちブックスポットオーナー9名、うちオンライン6名)	7名(うちブックスポットオーナー3名)	9名(うちブックスポットオーナー4名)	15名(うちブックスポットオーナー7名)
内容	「本」がある居場所のつくり方～「本」が持つ人が集うチカラとは～	地元クリエイターが集う出会いの場	展示スペースのあるブックスポット	本がつなぐ地域の憩いの場
ゲスト講師	西川正氏(真庭市立中央図書館館長/NPO法人ハンズオン埼玉副代表理事)	谷口弘記氏(シェア本棚明石店主)	永田浩史氏(高丘コミュニティ・センターエリアマネージャー)	西村正治氏(藤江まちづくり協議会副委員長)、畑野守氏(藤江駅前オアシス図書ボランティア)



第1回



第2回

(2) 「明石の既存のブックスポットや新設ブックスポットを対象とした助成」の実施

既存のブックスポット及び新規のブックスポットを対象に助成募集を行った。ブックスポット各拠点が持つ課題や問題について解決・改善することへつなげ居場所機能を活性化させるために、蔵書を増やす費用や雰囲気づくりや環境整備のための費用、PRや広報に要する費用、イベント開催費用等に活用できる助成金を交付した。新規のブックスポットには特に基盤整備など初期の場づくりに活用できる助成金を交付した。

【取組内容】

	スタート（新設）コース	パワーアップ（既存）コース
助成対象	既存に運営しているブックスポット	新たにブックスポットを開設し、運営をはじめたいブックスポット
募集期間	2024 年 8 月 1 日から 9 月 20 日まで	
助成期間	2023 年 10 月 1 日から 2024 年 2 月 29 日まで	
助成総額	2,085,500 円（うち 29,791 円返金あり）	
助成上限額	上限 100,000 円/件	上限 200,000 円/件
助成ブックスポット	4ヶ所（申請 4ヶ所）	17ヶ所（申請 19ヶ所）

(3) 相談対応による活動支援や情報提供などによるコーディネート

「明石まちなかブックスポットスタート&パワーアップ助成」の助成期間中には、新規も含めた助成金交付ブックスポット 18ヶ所を訪問し、助成金がどのように活用されているか、日頃の運営はうまくいっているか、困りごとや悩みはないか、今後どうしたいかなどのヒアリング・相談を行った。

また、同時にブックスポットの新規設置を考えている方には開設に向けての相談対応も行っている。相談後の開設例として「はやしふれあい☆ライブラリー」がある。

(4) 「明石のまちなかにあるブックスポットを集約した MAP」の発行と WEB への掲載

身近な場所にあるブックスポットを可視化し、実際に訪れるきっかけにつなげるため、市内にあるブックスポットの情報を一つの地図にまとめた「明石まちなかブックスポット MAP」2024 年版（第 3 版）を発行した。（初版 2021 年 3 月、第 2 版 2022 年 7 月発行）

2. インクルーシブ学習用コンテンツの制作・配信業務

健康で時間や生活に余裕がある人だけでなく、障害や年齢、性別、国籍、文化など様々な問題でこれまで学習する機会が少なかった人にも学習機会を提供し、多様性を認め合い、共に暮らしていくインクルーシブ社会の実現への一助とする。そのために、当事者団体や支援団体など 11 団体に対面でヒアリングを行い、ホームページの使用感やニーズ把握を行った。そこで聞こえてきた声から、ページ紹介文をやさしい日本語に変換するなどし、だれもが使いやすいページにブラッシュアップした。

また、学習用コンテンツとしては、①ウィズあかしを知る②文化を知るジャンルを新設し掲載した。

◎アクセス数：163 回 ※掲載期間 2023 年 4 月～2024 年 3 月

わたしたちはそれぞれいろいろならしさを持っています。肌や髪の色、年齢や障害があるかないかなどはさまざまで、みんながちがう存在です。そして、みんなのらしさが大切になる、みんなが差別されず、自由を制限されずにくらす権利をもっています。このページでは、障害があるかないか、言語や文化、国籍(どの国にのりひとか)等などに関係なく、また場所や時間にとらわれることなく、みんなが共に学びます。地域や社会への参加を応援するための学びを提供しています。

We each have different personalities. Each person is different, with different skin, hair colors, ages, and disabilities. And everyone has the rights to live respected, freely without discrimination. This page offers some videos that supports anyone to learn together and to participate in the local community regardless of disability, language, culture, nationality, place or time.

▲ページ紹介文

3. 明石にじいろキャンペーン市民向けセミナー運営業務

明石市では、SOGIE（性的指向、性自認、性表現）に関わらず、LGBTQ+（性的マイノリティ）を含むすべての市民が自分自身を大切に、自分らしく生き、互いを認め合える「ありのままがあたりまえのまち」の実現を目指してLGBTQ+/SOGIE 施策を推進している。

その施策の普及推進の一環として「明石にじいろキャンペーン」を実施するにあたり、一般市民のLGBTQ+/SOGIE の理解促進を図ることを目的として、明石市インクルーシブ推進室よりセミナー運営業務を受託した。LGBTQ+当事者とその父親の親子をゲストスピーカーとして招き、当事者として、また、父親としての体験や活動などを対談方式で話をさせていただいた。

アンケートでは、当事者からの話を聞くことができる講座等が多いが、カミングアウトを受けた側（家族）の話を聞くことができる講座はあまりなく、親子対談を聞くことができたのは、貴重な機会だったという意見が見られた。また、神戸学院大学大学院生も参加しており、若者への発信ができただけでなく、他市行政関係者等も複数参加しており、本市から他市への発信もすることができた。

【実施内容】

テーマ	開催日	ゲスト	参加者数
トランスジェンダーと父の親子対談	1月28日(日) 14:30~16:00	ゆうきさん、松本一成さん	52名

4. 明石市タウンミーティング開催支援

2023 年度は明石市が実施するタウンミーティング「まるちゃんカフェ」の企画や当日の進行の支援を担当した。タウンミーティングの形が見えれば、市の職員ファシリテーターに引き継ぐつもりだったが、なかなか引き継ぐことは難しく、11月実施分を除いてすべての回において、ファシリテーターを担当した。これにより、明石市役所内において、「ワークショップの実施といえば明石コミュニティ創造協会」というイメージを持っていただくことができ、「5. 市民ワークショップ企画・運営支援」に記載するような事業の受託につなげることができた。

【実施内容】

日程	テーマ	ファシリテーター
5月31日	障害者	柏木登起
6月28日	子育て	木上裕貴
7月20日	高齢者	柏木登起
8月18日	こども会議（小・中学生）	柏木登起
8月18日	若者会議（高校生世代～20代）	宮内龍太郎
9月23日	環境～ごみ減量～	原裕己
10月19日	にぎわい	木上裕貴
12月15日	30・40・50代が語る明石の未来	木上裕貴
1月20日	地域編「明石エリア」	柏木登起
2月18日	地域編「魚住エリア」	柏木登起
3月16日	地域編「朝霧エリア」	宮内龍太郎

5. 市民ワークショップ企画・運営支援

上記のタウンミーティングのファシリテーター役を担当したことを機に、明石市で実施する様々なワークショップの事業依頼があった。市民の声を聞いたというアリのバイ的なワークショップにならないように、市民の声を政策に反映させられるようなプログラムとなるよう留意して企画・運営することができた。

【実施内容】

日程	実施事業名
7月15日	新庁舎整備に関する市民ワークショップ
8月21日（午前・午後2回） 11月4日（午後・夜間2回）	大久保エリア開発にかかる市民参加ワークショップ企画・運営業務
1月14日・17日	（仮）西明石地域交流センターにかかる市民参加ワークショップ企画・運営業務
2月20日	緑の基本計画改定にかかる市民参加ワークショップ企画・運営業務

6. 県内中間支援組織との連携による市民活動支援の強化推進

現在、政府は孤独・孤立対策の一環として、市民活動を支援する中間支援組織の育成に向けた調査

事業を進めている。この取り組みを受託した公益財団法人ひょうごコミュニティ財団の提案により、当法人も県内の中間支援組織と連携した「小規模 NPO のための組織基盤強化事業」に参画した。具体的には、明石市内で活動する市民活動団体や NPO 等に向けて、「資金調達力を高める助成金申請のコツ」セミナーを開催。これにより、当法人としてはウィズあかしの施設に来る市民活動団体だけでなく、市内で孤独・孤立を防ぐために活動する多様な市民活動団体や NPO に対する支援力を強化することができた。

【実施内容】

日程	内容
10月18日、11月21日	「NPO・地域活動の資金調達力を高める助成金申請のコツ」セミナーの企画・開催
随時	セミナー開催を通じての市民活動団体からの相談対応
7月4日、11月15日、 12月26日、1月23日	県内中間支援組織8団体との連携による検討委員会

7. 視察受け入れ、講師派遣等

市民・団体等に向けて、主体性を育むための様々な取り組みを実施し、協働のまちづくりを推進した。具体的な取り組みとしては以下のとおり。

(1) 視察受け入れ

新型コロナウイルス感染症が5類となる中で、多数の視察を受け入れた。具体的には以下のとおり。

【視察受入実績】

日程	視察者	人数
4月1日	ウォーターステーション琵琶	3名
8月3日	王寺町役場政策推進課	3名
9月29日	王寺町役場政策推進課	3名
10月20日	鹿児島国際大学	2名
10月24・25日	新潟県妙高市役所 地域共生課	3名
10月25日	洲本市連合町内会	18名
11月9日	石川県羽咋市議会	6名
12月6日	京丹後市地域コミュニティ推進課	3名
2月14日	町田市地域福祉部福祉総務課事業係	3名
	町田市地域活動サポートオフィス	1名
3月9日	日本地方自治研究学会関西支部	10名

(2) 講師・委員等派遣事業

下記のとおり、多数の講師依頼を受けた。近隣にとどまらず、全国各地から依頼が増えつつある。

【講師派遣実績】

内容	派遣日	依頼者	テーマ	派遣者
講師	5月13日	東広島市三ツ城自治協議会	これからの地域づくり ～住民自治協議会の可能性～	柏木登起
講師	6月10日	綾部市人権推進課	令和5年度男女共同参画を考える講座「多様な人材が活躍できる地域づくり」	柏木登起
講師	6月26日	神戸大学バリュースクール	神戸大学バリュースクール「NPOでの社会課題解決の事業化について」	木上裕貴
講師	6月28日 8月30日 9月11日 9月28日	加西市教育委員会生涯学習課	加西市公民館・オークタウン加西職員研修「よりよい公民館運営・愛され公民館を目指して」	木上裕貴
講師	7月3日 9月4日	あかねが丘学園	ふるさと創造コース「効果的なチラシの作り方①③」	原裕己
講師	7月7日	東播磨地域首長・議員勉強会	「これからのまちづくり ～今、なぜ協働のまちづくりなのか～」	柏木登起
講師	7月20日	明石市こども局子育て支援室	2023年度第4回「びよびよミニ講座」	梅垣典子
講師	8月26日	与謝野町	よさのみらい大学地域づくり学部 「多様な人材が輝く地域づくり講座」	宮内龍太郎
パネリスト	8月31日	特定非営利活動法人日本NPOセンター	NPOと行政の対話フォーラム2023 「市民自治を育み、誰も取り残さない地域づくりに向けて」	柏木登起
講師	9月3日	稲美町自治会長会	令和5年度稲美町自治会長会「これからの自治会のあり方～多様な人材の参画が未来を拓く～」	柏木登起
講師	9月8日	鹿児島県男女共同参画局くらし共生協働課	令和5年度共生・協働推進かごしま自治体ネットワーク第2回会議「多様な人材が参画するコミュニティ・プラットフォームに向けて～行政の関わりを考える～」	柏木登起
講師	10月1日	認定NPO法人宝塚NPOセンター	れいわの自治会～参加しやすい自治会ってどんなカタチ？令和スタイルの運営を考える～	柏木登起
ファシリテーター	10月4～6日	農林水産省	農村プロデューサー養成講座（神戸会場）	柏木登起
パネリスト	10月8日	明石市政策局インクルーシブ推進室	ウィメンズ・アカデミーin明石2023	柏木登起
講師	10月28日	伊丹市自治会連合会	令和5年度自治会研修会「みんなでつくる地域づくり～移り変わるまちで多様な担い手を育む方法を考える～」	宮内龍太郎
講師	11月19日	王寺町	まちづくり協議会研修会「多様な人材の参加でつくるこれからの地域づくり～」	宮内龍太郎

コーディネーター	11月28日	総務省	令和5年度「地域運営組織」全国セミナー（九州ブロック）	柏木登起
講師	11月30日	加東市区長会・加東市市民協働部	令和5年第3回加東市区長会講演会「みんなで作る地域づくり～移り変わるまちで多様な担い手を育む方法を考える～」	宮内龍太郎
講師	12月16日	かごしま県民大学中央センター	令和5年度生涯学習県民大学講座「多様な人材の参画で進めるこれからの地域づくり～コミュニティプラットフォームの可能性～」	柏木登起
講師	12月22日	小松市町内会連合会	小松市町内会連合会理事会講演会「移り変わる地域とこれからのまちづくり～地域協議会の“可能性”を考える～」	宮内龍太郎
講師	1月20日	高槻市コミュニティ市民会議	令和5年度コミュニティ活動推進研修会「これからの地域とこれからの地域づくり」	宮内龍太郎
講師	1月23日	一般財団法人大阪府男女共同参画推進財団	モアいずみ塾『Go To モアいずみ2023』「みんながイキイキ暮らせる町明石の取り組み～これから地域で活躍するためのヒントを得よう！～」	柏木登起

<その他の委員派遣> いずれも2024年3月現在

- ・一般社団法人明石観光協会 理事 柏木登起
- ・あかし女性応援ねっと 事務局長 柏木登起

(3) 地域づくりを支援する人のためのケースブックの販売

販売冊数：13冊

(4) 各種ネットワークへの参加・連携

<主な機関>

- ・あかし女性応援ねっと
- ・ひょうご中間支援団体ネットワーク
- ・小規模多機能自治推進ネットワーク
- ・兵庫県災害救援ボランティア活動支援関係団体連絡会議 等

VI. 法人管理

前述のとおり、2022年度に策定したパーパス・ビジョン・ミッションを元に、スタッフが働くうえで大事にすべきことを記した「行動指針（クレド）」の策定にチャレンジした。月1回の全体会において、スタッフ一人ひとりが「なぜ明石コミュニティ創造協会働くのか」を振り返る機会をつくる

ことができた。これらの振り返りを通じて、働くうえで大事にすべき共通の価値観が見えてきたことは大きな成果だったと言える。

また、徐々に職員数が増える中、スタッフの人材育成には特に注力した。スタッフ一人ひとりとの日々のコミュニケーションを丁寧に取りながら、人材育成を進めることができつつある。

その他、評議員会、理事会、理事運営会議の運営等はもちろんのこと、会計・労務・登記等各種事務はこれまで通り安定して実施することができた。

具体的な取り組み内容は以下のとおり。

(1) 明石コミュニティ創造協会のブランディングにともなうクレド（行動指針策定）

2022 年度は設立 40 年、一般財団法人化 10 年の節目として、法人のビジョン・ミッション・パーパス及びロゴを策定した。これに基づき、2023 年度は全体会でのワークショップを積み重ね、クレド（行動指針）を作成した。

策定項目	内容
Value	一人ひとりの自立・自律にむけて、誰もが自分らしく、自己選択、自己決定できるように
Behavioral Guidelines	寛容な姿勢である 本質をつかむ 安心と安全をつくる 適度な介入をする ともにソウゾウする

(2) 法人の基盤整備事業の内容

- ・ 評議員会・理事会の運営
- ・ 行動指針（クレド）の策定
- ・ ビジョン会議等法人の今後の方向性を検討する機会の開催
- ・ スタッフの人材育成及びスキルアップ評価の仕組み、給与評価制度の運用
- ・ 会計・税務処理
- ・ 労務処理
- ・ 各種規程の見直し
- ・ 法人情報の開示の徹底
- ・ 法人ホームページ及び SNS の運用
- ・ 登記変更及び届出、その他手続の処理
- ・ その他法人の運営に関すること

(3) 会議開催状況

【評議員会】

第 28 回評議員会（6 月 30 日）：2022 年度決算承認（議案）

評議員の選任（議案）

理事及び監事の選任（議案）

2022 年度事業報告（報告）

2023 年度予算（報告）

第 29 回評議員会（3 月 29 日）：理事の選任（議案）

2024 年度事業計画（報告）

2024 年度暫定予算（4～6 月分）（報告）

【理事会】

第 38 回理事会（6 月 15 日）：2022 年度事業報告、2022 年度決算報告、2023 年度予算

第 28 回評議員会の開催

第 39 回理事会（みなし開催）：役員（理事長及び常務理事）の選任

第 40 回理事会（9 月 6 日）：会計処理規程の改正、契約職員に係る給与に関する要綱の改正

明石まちなかブックスポット事業の実施、2023 年度事業進捗状況

第 41 回理事会（3 月 6 日）：2024 年度事業計画、2023 年度補正予算、2024 年度暫定予算

各種規程の変更について、各種規程の廃止について

第 29 回評議員会の開催について

【その他の会議】

- ・ビジョン会議（法人の今後の方向性を考えるリーダー以上のメンバーによる会議） 年 2 回開催
- ・職員全体会 毎月第 1 月曜に開催
- ・その他各チーム別会議等 随時開催

（4）人員体制 ※2024 年 3 月 31 日現在

【役員体制】

評議員：石井美弥子、小田幸子、川島幸夫、高岸益子、宮内正次、本塚智貴

理事長：永野潔

常務理事兼事務局長：柏木登起（常勤理事）

理事：青木志帆、岩崎充臣、澤井康樹、竹内利江、久隆浩、門前喜康

監事：荻野泰三、藤田道広

【スタッフ】

事務局員：市出向職員 5 名、プロパー常勤職員 12 名、パート職員 20 名

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間稼働率
学習室701	R05	66.2	62.8	68.6	72.4	62.3	73.1	80.1	74.4	71.5	75.7	68.7	69.1	70.4
	R04	63.5	65.4	71.8	69.1	65.4	72.4	66.0	84.0	75.0	70.8	77.1	71.3	71.0
	R03	62.3	41.0	52.6	61.7	57.1	53.8	70.4	73.3	77.1	66.0	48.6	58.6	60.2
	R02	24.1	8.3	56.7	63.0	68.6	59.0	67.9	72.0	73.6	54.2	66.0	64.7	61.6
学習室702	R05	71.4	69.2	78.2	78.2	71.6	79.5	91.0	83.3	83.3	84.7	81.3	83.8	79.6
	R04	67.9	67.9	71.8	72.8	67.9	75.6	75.6	80.8	79.2	76.4	84.7	87.5	75.7
	R03	50.6	51.3	66.7	79.0	57.7	56.4	84.0	73.3	79.2	63.9	61.1	54.3	64.8
	R02	44.4	4.2	56.0	60.5	66.7	73.1	75.3	72.0	68.1	54.2	68.1	61.5	63.1
学習室703	R05	70.1	66.7	74.4	76.9	61.7	75.6	78.2	82.1	77.8	76.4	83.6	70.7	74.5
	R04	64.9	70.5	70.5	77.8	67.9	76.9	69.2	80.8	79.2	69.4	76.4	82.3	73.8
	R03	53.2	39.7	39.7	63.0	53.8	47.4	82.7	70.7	72.2	63.9	52.8	59.3	58.2
	R02	61.9	12.5	37.3	39.5	55.1	65.4	60.5	64.0	65.3	54.2	47.8	57.7	53.6
学習室704	R05	67.1	68.6	77.6	70.5	64.2	73.1	83.3	82.7	66.0	75.7	80.7	71.0	73.4
	R04	63.0	70.5	70.9	72.8	68.6	76.9	80.1	82.1	63.2	72.2	81.9	75.2	73.1
	R03	44.2	36.5	51.9	65.4	50.0	53.8	71.0	75.3	70.1	66.7	62.5	70.3	59.8
	R02	28.0	37.5	34.7	54.9	53.8	65.4	64.2	70.0	70.1	59.7	59.0	61.5	56.8
学習室801	R05	79.1	73.7	81.4	81.6	71.6	82.7	85.3	80.1	69.4	85.4	84.2	83.2	79.8
	R04	76.9	68.2	76.9	78.4	69.9	82.7	77.9	82.1	84.7	77.1	88.9	85.8	79.1
	R03	60.9	50.0	49.4	69.1	67.3	67.9	79.6	83.3	79.2	68.1	67.4	72.2	67.9
	R02	33.3	16.7	58.7	66.0	60.3	73.7	65.4	75.3	63.9	58.3	63.6	71.8	63.3
学習室802	R05	74.0	65.4	79.5	75.6	63.0	73.1	83.3	76.9	68.1	76.4	81.3	74.1	74.2
	R04	70.5	65.4	78.2	75.3	69.2	67.9	73.1	84.6	70.8	65.3	81.9	76.5	73.2
	R03	59.0	46.2	47.4	56.8	43.6	46.2	79.0	78.7	65.3	61.1	58.3	66.7	59.0
	R02	40.7	4.2	38.7	48.1	44.9	67.9	63.0	60.0	55.6	54.2	52.2	48.7	51.5
学習室803	R05	69.7	55.1	76.9	66.7	61.7	60.3	73.1	65.4	68.1	66.7	77.3	70.5	67.6
	R04	61.0	65.4	76.9	64.2	55.1	67.9	71.8	82.1	79.2	77.8	75.0	79.0	71.3
	R03	53.3	25.6	57.7	56.8	53.8	44.9	65.4	78.7	68.1	58.3	63.9	63.0	57.5
	R02	37.5	4.2	52.0	51.9	51.3	59.0	67.9	61.3	63.9	58.3	48.6	46.2	54.0
学習室804	R05	80.8	73.1	82.1	71.8	75.3	78.2	78.2	80.8	61.4	76.4	84.0	78.5	76.7
	R04	75.6	82.1	78.2	76.5	70.5	70.5	80.8	80.8	76.4	81.9	80.6	79.0	77.7
	R03	69.2	60.3	71.8	70.4	74.4	71.8	84.0	78.7	90.3	80.6	65.3	70.4	73.9
	R02	40.7	16.7	66.7	72.8	69.2	75.6	75.3	74.7	76.4	69.4	62.5	79.5	69.6
学習室805	R05	67.9	60.3	71.8	67.9	65.4	57.7	85.9	69.2	68.1	81.9	77.3	62.5	69.7
	R04	62.8	64.1	82.1	66.7	65.4	59.0	66.7	74.4	59.7	66.7	76.4	65.4	67.5
	R03	42.3	50.0	61.5	55.6	57.7	56.4	71.6	61.3	81.9	65.3	59.7	55.6	59.9
	R02	40.7	8.3	50.7	56.8	48.7	47.4	64.2	57.3	56.9	56.9	55.6	64.1	54.0
調理実習室	R05	26.9	25.6	42.3	44.9	32.1	42.3	53.8	46.2	61.4	45.1	44.0	30.9	41.3
	R04	14.1	28.2	35.1	40.7	29.5	29.5	30.8	44.9	47.8	30.6	61.1	43.2	36.3
	R03	5.1	9.0	10.3	27.2	12.8	17.9	24.7	40.0	42.0	27.8	27.8	18.5	21.9
	R02	7.4	0.0	5.3	22.2	11.5	9.0	29.6	33.3	16.4	15.3	8.3	19.2	16.3
和室	R05	62.8	44.9	55.1	55.1	47.5	48.0	66.7	52.6	49.3	52.8	49.3	48.1	52.7
	R04	35.9	39.7	51.3	44.4	50.0	51.3	53.8	61.5	48.6	56.9	66.7	56.8	51.4
	R03	44.9	38.5	42.3	35.8	30.8	29.5	49.4	49.3	48.6	48.6	44.4	43.2	42.1
	R02	14.8	4.2	38.7	38.3	39.7	46.2	50.6	50.7	41.7	36.1	31.9	48.7	40.3
子午線ホール	R05	49.3	46.8	58.7	54.7	55.0	44.2	74.4	77.5	51.4	36.1	59.2	67.5	56.0
	R04	42.5	27.6	53.9	70.4	57.9	37.2	60.5	77.3	47.1	69.5	68.6	44.4	54.7
	R03	34.8	12.8	43.4	59.3	34.6	24.4	56.2	66.2	58.0	50.8	64.3	45.8	45.9
	R02	8.3	0.0	2.7	10.1	12.8	28.2	53.3	55.4	41.7	15.3	51.9	33.3	27.2
リハーサルスタジオ	R05	36.4	47.4	39.7	39.7	34.2	41.0	52.6	43.6	45.8	44.4	50.0	48.1	43.6
	R04	28.6	43.6	44.9	55.6	36.4	39.7	40.8	60.3	40.3	47.2	58.3	43.2	44.9
	R03	36.5	25.6	29.5	44.4	29.5	44.9	45.7	58.7	41.7	40.3	37.5	34.6	39.1
	R02	20.8	0.0	13.3	25.9	20.5	28.2	33.3	45.3	34.7	22.2	27.8	23.1	26.4
音楽練習室1	R05	66.7	61.5	56.4	70.5	66.7	70.5	80.8	79.5	75.0	76.4	77.3	69.1	70.9
	R04	65.4	70.5	73.1	63.0	65.4	69.2	71.1	82.1	75.0	70.8	77.8	65.4	70.7
	R03	51.3	52.6	47.4	53.1	52.6	70.5	77.8	57.3	59.7	68.1	56.9	46.9	57.9
	R02	51.9	12.5	42.7	66.7	52.6	48.7	61.7	65.3	56.9	59.7	54.2	61.5	55.6
音楽練習室2	R05	34.6	30.8	34.6	32.1	33.3	48.7	55.1	64.1	48.6	33.3	47.3	36.3	41.6
	R04	19.2	32.1	30.8	28.4	29.5	39.7	28.9	53.8	37.5	31.9	36.1	46.9	34.6
	R03	24.4	37.2	28.2	34.6	26.9	35.9	35.8	45.3	31.9	27.8	11.1	19.8	29.9
	R02	3.7	4.2	20.0	29.6	26.9	30.8	28.4	36.0	22.2	26.4	26.4	35.9	26.8
ウイズあかし 全室平均	R05	63.1	58.7	67.0	65.7	59.2	65.4	76.1	71.9	66.0	68.0	71.1	65.9	66.5
	R04	56.4	59.2	65.9	65.4	59.6	63.8	65.1	75.5	66.0	65.8	74.4	68.5	65.4
	R03	47.8	39.1	47.4	54.5	48.7	49.9	66.6	67.9	66.3	58.8	53.1	54.6	54.7
	R02	29.3	7.6	39.6	49.5	48.1	54.2	58.8	61.7	56.5	48.1	50.6	54.2	50.2